鞆町のみなさんと「鞆まちづくりビジョン」を考える

いい鞆ニュース Vol 7

発行：福山市　2017年（平成29年）11月

これからの鞆のこと、おとなも子どもも一緒に考えましょう

第８回 10/28（土）

「出会い・ふれあい・支えあい」をテーマに話し合いました。

会場のようす

10月28日（土）に鞆公民館の２階ホールで、「鞆まちづくりビジョン」策定に向けた第８回ワークショップを開催し、行政職員を含む約50名が参加しました。

ワークショップでは、第７回のおさらいに続き、全国的にも福山市でも、鞆町においても人口が減少する中、地域は何をしたらよいかを考えるきっかけとして、鞆の人口推移について共有しました。

その後、昨年度のワークショップでとりまとめた基本方針案の５つのテーマのうち、テーマ３「出会い･ふれあい･支えあい」について、「既にやっていること」、「今後やりたいと思うこと」付せんに書き、グループで話し合いました。

各グループの話し合い結果の発表ごとに全体討論を行い、質問や意見を出し合いながら、話し合いを深めました。

その中で、鞆の中では子どもと高齢者が共に活動したり、小学生から町の大人までが観光ガイドができたりと、既に支えあいながら町内外の人と出会ってふれあっているという意見が多く、鞆の人たちは世代を超えた取り組みの中でふれあいの機会があり、伝統文化を大切にしながら交流を深めていることを確認しました。

一方で、地域の魅力を上手に発信できていないといった意見もあり、体制づくりについても話し合うことが必要であると確認しました。

次回 第９回ワークショップ

11/26（日） 13:00～ 鞆公民館２階ホール

テーマは「まちづくりの体制」

はじめての参加大歓迎

声を掛けあってご参加ください

【お問い合わせ先】　福山市建設局都市部都市計画課（鞆まちづくり推進担当）
電話（084）928-1142　（担当：岩木）

第８回ワークショップに参加された方のご意見・感想

～アンケートより～

- みんなで話せたのが良かった
- 楽しかった
- 鞆で役に立つために鞆のことを勉強したくなった
- 鞆の人口について、興味深かった
- ワークショップでのよい出会いを大切に、鞆をもっと知りたいと思った
- 同じグループに県外の方がいて外からみた意見が聞けて良かった
- グループ内では他の世代の人と意見交換ができ、いろいろなご意見が聞け、他のグループの人の意見も聞けて良かった

このような意見もありました

- もっと若い人の参加があるといいのに
- ワークショップに年配の人も誘おう
- もっと参加者を増やしたい
- こうした議論の積み重ねが大切だと感じた
- 20代～40代の人たちの参加や意見発表をもっと聞きたい

お母さんも安心
「キッズルーム」あります

中学生・高校生も
参加してくれています

「ご意見箱」を設置しています

鞆支所 1F エントランスホール

ご意見をお寄せください

お仕事の都合などでどうしても参加できない方は、支所にある「ご意見箱」にご意見をお寄せください。

これからの鞆のまちづくりについてのアイデアをお待ちしています。

「出会い・ふれあい・支えあい」に関するご意見を分類しました。

※主なご意見をご紹介しています。全ての意見については、次回ワークショップで「意見一覧」としてお配りします。

		出会い	ふれあい	支えあい
住民どうしの関わり	既にやっていること	・鞆の先祖達のやさしさをゆずり合う心が今の鞆につながり、大きく誇れる「精神文化」を語る ・ゆずりあいの気持ち など	・さくらホームとこども園の交流 ・小中学校、子ども達と地域の人とのふれあい交流 ・「笑いの広場」鞆の津サロン（お年寄りと未就園親子の集い） ・町内スポーツ大会での他町との交流 など	・親子でお年寄りの生活体験 ・不明者が出ても全町で取り組む ・福祉施設の入居者をまちの人が知っている ・高潮の時、高齢者だけの家には若い人が土嚢を運んでくれていた など
	今後やりたいこと	・関係ない行事にも関心を持つ（怒られるかもしれないが、人情味もあれば無責任な面もある） ・交流の場、グループを超える場、認知する方法 ・すばらしい町なのになぜ一体になれないのかな など	・他地区の人との交流 ・そうじ会（町全体） ・学校と地域とのつながりを継続する活動を続ける ・地域内へのＰＲ ・ガイドの交流 など	・高齢者がイキイキして地域で役割を楽しく果たせる、地域の笑顔となる ・小さな子どもがもう少し増えて、地域みんなで育てる（日本一子育てに恵まれたやさしいまち） ・若者を地域に根付かせる など
訪れる人との関わり	既にやっていること	・誰にでも声をかける住人 ・旅行者に親切 ・よそものを受け入れる雰囲気 ・鞆においてよそもの同士が知り合う ・観光客は鞆の人が方言で気軽に声かけするのを大変喜んでいる「あんたらどっから来たん？」　など	・観光ガイドで旅行者のおもてなし ・町並みひな祭など、地域が協力したイベント ・外国の方のオリエンテーリングの休憩場所（こども園） ・大型客船での来訪者を子ども達がお迎えお見送り、和太鼓披露　など	・関西の中学生修学旅行を民泊で受け入れ ・民泊時には、まちぐるみで協力 ・ボランティアガイド ・外国人に英語でボランティアガイド など
	今後やりたいこと	・観光客の人の受け入れ方 ・外国人、観光客へ鞆の芸能を体験して交流できると楽しそう ・観光客と地元の人との出会いの場をつくる など	・民家でお茶 ・魚の裁き方教室 ・押しつけにならないよう、旅人への心のおもてなしを心がける など	・空き家を活用した移住体験施設 ・ファンを増やす ・気軽に泊まれるゲストハウス など

これまでの経緯と話し合いの位置づけ

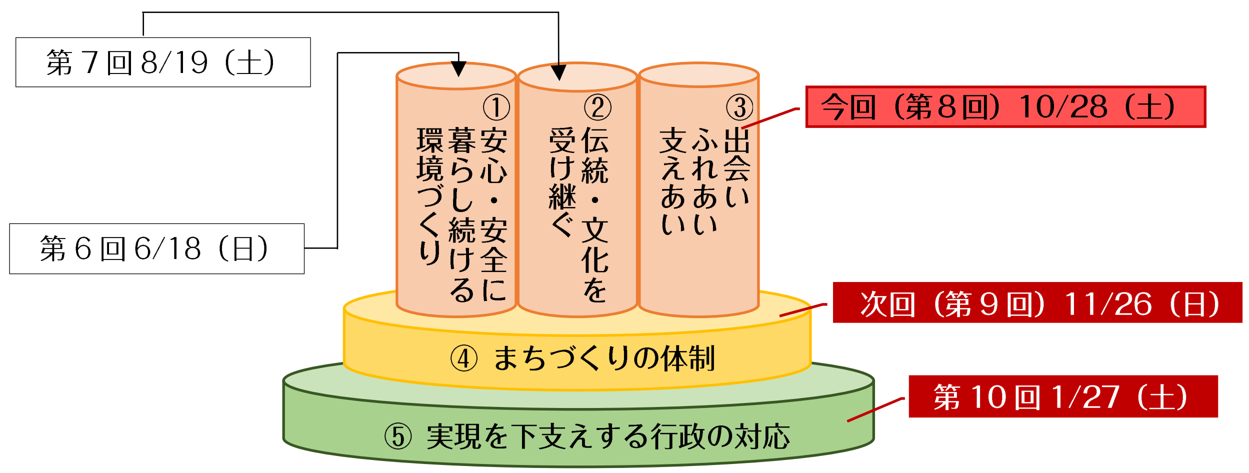
昨年度

お互いに共感しあえる鞆の将来を見据えたまちづくりのビジョンを考えようと、鞆のみなさんと一緒にワークショップ※1による話し合いをはじめました。

５回のワークショップを開催し、鞆のよいところ、改善すべきところについて意見を出し合い、鞆の将来を見据えた鞆まちづくりビジョン※2を考える上での項目を整理し、「鞆まちづくりビジョン基本方針案」として５つのテーマでとりまとめました。

今年度

今年度は５つのテーマについて話し合っています



⇒　テーマ①、②、③での話し合いを踏まえ
次回　<第９回：11/26（日）開催>　は
「まちづくりの体制」について話し合います。

参加お待ちしています

※1 ワークショップとは

このワークショップは、鞆町のみなさんを対象に行っています。ワークショップは、進行役により参加者全員が発言しやすい雰囲気をつくり、共通のテーマについて話し合うものです。参加者はグループに分かれて自分の意見や考えを出し合い、協力しながら意見整理を行います。

※2 鞆まちづくりビジョンとは

鞆まちづくりビジョンは、鞆町のみなさんが日頃から感じていることや、望ましい鞆の将来像を共有し、住民主体のまちづくりの取り組みや、それに対する行政の支援、住民と行政が協力して取り組むべきことなどの具体的な方向性を示すものです。

第８回 ワークショップのようす

鞆の人口について紹介

グループで話し合い

グループごとに話し合った結果を発表

各グループの発表を受けて全体で討議